

## 令和2年度 第2回江別市まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録（要点筆記）

日 時：令和2年10月30日（金） 14時00分から14時30分

場 所：江別市民会館 21号室

出席委員：澤井秀座長、田口智子座長代理、粕谷堅一郎委員、伊藤留美子委員  
龍田昌樹委員、大鹿琢委員、腰原久郎委員、浦野博之委員（計8名）

オブザーバー：守山英男（石狩振興局地域創生部長）

欠席委員：小関堂寛委員、吉田岳夫委員、亀山和美委員、斎藤和宏委員（計4名）

事務局：企画政策部川上部長、企画政策部西田次長、政策推進課石田参事、北島主任

傍聴者：0名

### 会議概要

#### 1 委員の紹介

#### 2 開会

#### 3 議事（1）重要業績評価指標（KPI）の実績について、事務局説明

##### ○田口座長代理

この会議では毎年貴重なデータが提示されているが、現在のデータ社会においては、ビッグデータをどのように活用するかが課題となっている。

江別市においても様々な数値が出ており、例えば、待機児童がいる一方で、江別への転入者数が増えている、また、ホームページのアクセス数増加と経済の発展といったデータがあるなど、分析を行えば関連性などを見つけられるのではないかと。そうすることで、江別市の強みや弱みが分かってくる。一つ一つのデータについては方向性が違うものであるが、ビッグデータとして活用・分析すると良い。

##### ○事務局

各分野にまたがって様々な施策を実施しており、通常はそれぞれの施策ごとに担当部局が数字を把握して改善するように取組んでいるが、このような会議の場で改めて全体を通して集めると、転入者数増加、待機児童増加、ホームページ数増加など別々に動いているのではなく、関連して動いていることに気づかされた。事務局としても、日々様々な部局からデータを入手し、分析に役立てていきたい。

##### ○澤井座長

いくつか目標を達成していない項目もあるが、大方は達成、あるいは近い結果であり、第一期の5年間は良い方向に行っていると思う。

現在は第二期に入っており、第一期と第二期の総合戦略を見比べると、第一期のKPIは54項目あったのに対し、第二期は14項目と項目数を絞っている。第二期は第一期で達成出来なかったもの、新たに見えてきた部分を集中的に取り組んでいる。基本目標の4つは変わらないが、KPIは絞っているので、第一期の結果を振り返り、第二期の総合戦略の目標を皆で達成するように市と我々関係者も努力していきたい。

## 議事（２）基本目標達成状況について、事務局説明

### ○田口座長代理

２０１６年、２０１７年頃に三好市長が各所で人口問題に対して、減少から増加に転じていきたいと公言していた。その中で、江別市役所、経済界、市民など、それぞれの努力によって暮らしやすい市民割合や転入者が増加してきている。少しずつではあるが、人口の増加傾向という結果となり良かった。課題もあるが、人口が増加に転じていけば課題解決につながると思う。

### ○澤井座長

基本目標①から④までの達成状況を見ると、「基本目標③若い世代の結婚・出産・子育てを支援する」の指標が２つとも未達成となっている。恐らく、転入者が増えているので子育て世代が入ってきており、サービスを充実させていく必要があるが、転入増加に対応が追いついていないことが要因と思われる。また、市のアピールが少し弱いように感じる。転入してきた若い世帯に対してサービスを充実させることができると、それを外に向けてアピールできる。大変だとは思いますが、引き続き第二期も頑張っていたいただきたい。

### ○浦野委員

新型コロナの感染拡大を機に、テレワーク、リモートワークを推進する企業が大都市圏で増えていることにより、地方でのリモートを使った働き方の実現、新しい人の流れが生まれるチャンスが出てきている。一方、それらの潮流を地域内にどう取り込んでいくかという地域間競争もより激しくなっていくと思われる。国の交付金活用や道の動きと連携しながら、他地域にはない江別市の特性を生かした、「テレワークで江別市暮らし」を人口減少対策のひとつとして検討していただきたい。

### ○事務局

新型コロナなどによる生活環境、ビジネス環境の変化により、リモートワークやテレワークが普及することから、大都市などにある企業の地方への移転が促される可能性があるため、市も流れを有効に活かしていきたいと考えている。

江別市では、今年度４月から企業誘致の補助金である本社企業移転補助金を増設した。これは、本社全体または人事部門など本社機能を一定程度移転した場合に補助をする制度であり、都市部の企業に知っていただくために周知に努めていきたい。江別市だけでは交付金などの額にも限度があるので、国や北海道などの制度と組合せて活用していただけるような周知活動を検討していく。

## ４ その他

【質疑なし】

## ５ 閉会